

# 情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会(第16回) 議事概要

## 1 開催日時及び場所

令和2年12月14日(月) 16:00~17:30

於、オンライン会議 (Skype for Business)

## 2 出席者(敬称略)

### (1) 委員等

部会長: 相田 仁(委員)

部会長代理: 三瓶 政一(委員)

委員: 伊丹 誠、上條 由紀子、村山 優子

専門委員: 浅野 弘明、今井 朝子、内田 信行、門脇 直人、上村 治、川島 徳之、  
川添 雄彦、古賀 正章、芹沢 昌宏、武田 幸子、丹 康雄、西岡 誠治、  
橋本 明、藤本 正代、前田 洋一

### (2) オブザーバー

電気通信システム委員会構成員:

釘吉 薫(情報通信研究機構)、後藤 良則(日本電信電話)、  
宮地 悟史(KDDI)、山本 秀樹(沖電気工業)

ITU-T SG 要職者:

荒木 則幸(日本電信電話、SG15 副議長)、  
高谷 和宏(日本電信電話、SG5 副議長)、  
三宅 優(KDDI 総合研究所、SG17 副議長)、  
山岸 和久(日本電信電話、SG12 Q13 ラポータ)、  
山田 徹(日本電気、SG20 副議長)

### (3) 総務省

巻口 英司(国際戦略局長)、藤野 克(大臣官房審議官)、近藤 玲子(通信規格課長)、  
重野 誉敬(通信規格課国際情報分析官)、渡邊 修宏(通信規格課標準化推進官)、  
長屋 嘉明(通信規格課課長補佐)、天野 佑基(通信規格課専門職)

## 3 議題

### (1) 世界電気通信標準化総会(WTSA-20)について

(2) 「国際電気通信連合電気通信標準化部門の活動への対処について」のうち「電気通信標準化諮問委員会への対処」について【昭和 60 年 4 月 23 日付け(平成 5 年 4 月 26 日一部修正)電気通信技術審議会諮問第 2 号】

(3) その他

#### 4 配布資料

資料 16-1 情報通信審議会情報通信技術分科会 ITU 部会 名簿

資料 16-2 情報通信審議会情報通信技術分科会 ITU 部会(第15回) 議事概要

資料 16-3 情報通信審議会情報通信技術分科会 ITU 部会(第15回) 議事録

資料 16-4 世界電気通信標準化総会(WTSA-20)について

資料 16-5 情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会  
電気通信システム委員会報告 概要

資料 16-6 情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会 電気通信システム委員会報告

資料 16-7 一部答申書(案)

資料 16-8 情報通信技術分科会 ITU 部会の活動状況

資料 16-9 諮問第 22 号「新たな情報通信技術戦略の在り方」第4次中間答申  
～Beyond 5G 時代における新たな ICT 技術戦略～ 概要

資料 16-10 Beyond 5G 推進戦略(概要)

資料 16-11 報道資料「Beyond 5G 新経営戦略センター」の立ち上げ及びキックオフシンポジウムの開催

#### 5 議事

(1) 世界電気通信標準化総会(WTSA-20)について

資料 16-4 に基づいて、WTSA-20 の概要及び今後の予定について、事務局より説明を行った。質疑・意見等はなし。

(2) 「国際電気通信連合電気通信標準化部門の活動への対処について」のうち「電気通信標準化諮問委員会への対処」について【昭和 60 年 4 月 23 日付け(平成 5 年 4 月 26 日一部修正)電気通信技術審議会諮問第 2 号】

資料 16-5 に基づいて、電気通信標準化諮問委員会への対処について丹電気通信システム委員会主査から説明が行われ、資料 16-6 により事務局から補足が行われた。

本件について、本部会で審議を行い、一部答申することとした。主な質疑は以下のとおり。

村山委員：

New IP は提案通りでよいと思う。3点、質問があるので教えてほしい。

1点目は、SG2において災害関係の安否確認等の提案がされているようだが、SG5でも気象のレジリエンスというものがある。そちらも災害関係と思われるが、こうした災害というキーワードに関連する課題が2つのSGにまたがっている場合は、お互いに情報共有等を行っているのかを教えて欲しい。

2点目は、SG11でIP関連のアドレス管理の勧告について記載があったが、ここで意味するアドレスはIPv4と考えてよいか。

3点目が、SG17について、IoTのセキュリティや、5Gセキュリティ、車のセキュリティ関係の研究課題が記載されているが、これらの分野には日本の参加者が深く関わっているか。

相田委員：

1点目の災害関係の質問について、SG2で検討しているのは日本でやっているような緊急地震速報といった、緊急時の速報関係などであり、それらはSG5とリエゾンをしていたと思う。

高谷オブザーバー：

SG5では災害関係と気候変動とは切り離して考えており、SG5では気候変動に対してICTがどう貢献できるかを検討している。その後、気候変動が災害にどう関係するかという面でSG2とやりとりをしたことはない。

鈕吉オブザーバー：

2点目でご質問頂いたのは、資料16-6 18ページの「信号要求条件とプロトコル」の中にある研究課題5、勧告Q.3717「IPアドレスプールの自動管理のためのシグナリング要求条件」という項目のことかと思うが、こちらの勧告はIPv4/v6共通の勧告になる。

三宅オブザーバー：

3点目のIoT、5G、ITSに関するセキュリティについて、IoTに関しては日本からの寄書が4件ぐらい出ており、日本がよく貢献している分野になる。

5Gに関しては、まだ日本からの寄書は出ていないが、5Gセキュリティタスクフォースという組織をつくり、ITU-Tで5G関係のセキュリティについて何を議論するかを整理している状況であり、他の標準化団体の活動等でITUでも注目すべき事項をまとめた文書を、私のほうで作成している。タスクフォースでは、日本が中心となって、サービスだけではなく、インフラ関係のセキュリティも検討すべきであるとしている。

ITSに関しては、研究課題13(高度道路交通システムセキュリティ)と独立した課題があり、韓国の自動車会社(Hyundai)が中心となって進めている。日本も何件か寄書を提出し、勧告化されたものもある。これらは、日本国内の自動車の標準化を行っているJASPARや自動車技術会といった団体とTTC内で議論をした結果も含んでおり、自動車業界の意見も踏まえながら、貢献しているという体制になっている。

(3)その他

- ・9月の定期改選において専門委員の交代があり、川口忠久専門委員の後任として川島徳之専門委員より挨拶があった。
- ・前回の議事録及び議事概要について、資料 16-2、資料 16-3 の確認を行い、事務局からホームページへ公開する旨の説明があった。
- ・本年度の人事異動に伴う事務局の交代について、藤野国際戦略局審議官、近藤通信規格課長及び重野国際情報分析官から、挨拶を行った。
- ・その他の議題として、「新たな情報通信技術戦略の在り方」第4次中間答申、Beyond 5G 推進戦略及び Beyond 5G 新経営戦略センターの立ち上げについて、資料 16-9、資料 16-10、資料 16-11 に基づいて事務局より説明を行った。主な質疑・意見は以下のとおり。

#### 三瓶委員：

Beyond 5G の目標は 2030 年ということで各国の議論が始まったところだが、2030 年という SDGs と関連してくる。1 点目は、SDGs といった場合に、今回の Beyond 5G 新経営戦略センターの設立も、民間ベースでの力をつけていくという形での日本の技術レベルの向上、あるいは発揮する場所を狙っているという考え方だと思うが、特に生活圏のインフラへの適用という 5G のロジックが、環境のような非常に大きなテーマになってきた際には国の枠を超える話になる可能性がある。連携を含めて日本が苦手な分野に入ってしまうので、注視しつつ進めて欲しい。

2 点目は、ネットワーキングでは単なるビジネス分野での話ではなく、政治的な話が絡んできている。6G の時代にも、国対国や地域対地域という考え方がどうしても入ってくる可能性があるが、総務省が主体的にどう対処するのかについて議論が必要であれば、Beyond 5G 新経営戦略センターを活用して、様々な制約条件があるものを一つずつクリアにしていくという形で進めていただければと思う。

#### 近藤通信規格課長：

1 点目の国の枠を超える課題については、12 月 11 日に、Beyond 5G 推進コンソーシアムの立ち上げについて、総務省から報道発表しているところ。この中に国際委員会というものを設置し、海外としっかり連携していくこととなっている。Beyond 5G 新経営戦略センターは、このコンソーシアムと密に連携しつつ、特に国際関係については本国際委員会との連携をしっかり進めていく。

また 2 点目の単なるビジネスベースではなく、政治・政策が関連する可能性については、これまでも総務省では、欧米をはじめ、アジア地域の等の様々な国の政府と政策的な繋がりを持っており、対話も行ってきている。このような関係を生かしつつ、新しい関係も築きながら、政府間でも国際連携を進めてまいりたい。

以上